

女優

あなたは、

私の踏み名よ。

*Hioko Yakushimaru*

tragedy of W original story by Shizuko Natsuki,  
directed by Shinichiro Sawai, Haruki Kadokawa presents.

# Wの悲劇

薬師丸ひろ子

世良公則

高木美保(断人)  
志方亜紀子

清水紘治  
香野百合子  
南 美江  
仲谷 昇

蜷川幸雄

三田村邦彦

三田佳子

澤井信一郎 監督作品

製作◎角川春樹

原作◎夏樹静子  
(角川文庫版  
カッパ・パルス版)

脚 本◎荒井晴彦  
◎澤井信一郎

撮 影◎仙元誠三

舞台監督◎蜷川幸雄

主題歌・唄◎薬師丸ひろ子  
(角川レコード  
薬芝EMI)

製作協力◎セントラルアーツ

配 給◎東映

角川春樹事務所作品



《W》のひと文字に隠された  
愛と憎しみのドラマの開幕を告げる1ベルが鳴り響く……



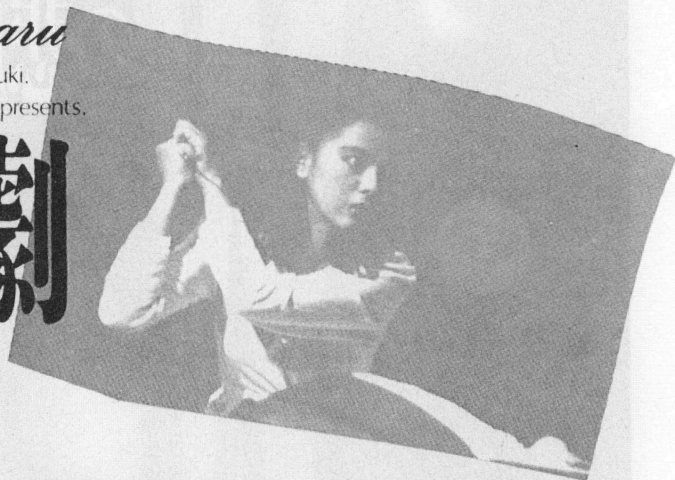
別荘で水入らずの正月を過ごす財閥・和辻家を突然の悲劇が襲った。当主・与兵衛を女子大生である摩子が刺し殺してしまったのだ。このスキャンダルを外にもらすわけにはいかない。一族は結束して外部の者の犯行に見せかける偽装工作を試みる。しかしその工作を警察に暴露するよう細工する者が現われた。事件の裏に隠された真実とは——夏樹静子の原作『Wの悲劇』が劇団「海」によって演じられ

ている。しかしその舞台と同じように展開する〈悲劇〉が舞台裏でもクライマックスに向けて進行していた。そしてその〈悲劇〉の登場人物とは、舞台で事件の鍵を握っている和辻淑江を演じる劇団「海」の看板女優・羽鳥翔、刑事課長役を演じる五代淳、ヒロイン摩子役の菊地かおり、三田静香ら劇団研究生達。彼らが舞台で演じる『Wの悲劇』とともに抱えこんだ真実とは——

*Hiroko Yakushimaru*

"Tragedy of W." original story by Shizuko Natsuki.  
directed by Shinichiro Sawai. Haruki Kadokawa presents.

# Wの悲劇



Women  
《W》それは女たちを表わすW……

〈W〉それは和辻家を表わすWでもあり、舞台と映画のドラマが重なりあって進行するダブル構造のWであるのだが、日本映画界初の本格的バック・ステージ映画というわけだ。

映画の主人公の名は三田静香、20歳。この駆け出しの劇団研究生が、舞台『Wの悲劇』のヒロイン摩子役のオーディションに挑み、最初は失敗するが、思わぬチャンスが訪れる。しかしそのチャンスの中には凄じいスキャンダルが含まれていた。それには舞台の摩子が抱えたスキャンダルと同じようなく悲劇が待っていたのだ。だが静香は現実の恋も忘れて、この『女優』の道をつっ走ってゆく……。

三田静香を演じるのは今夏のヒット作「メイン・テーマ」で20歳らしい色香と成長を見せた薬師丸ひろ子。前作とはうって変わったヘビィな役を力いっぱい熱演

し、新たなキャラクターを創りあげた。静香に女優の道の厳しさを教える羽鳥翔役には三田佳子、そして五代には三田村邦彦、さらに静香の恋人役に世良公則、ほか中谷昇、清水紘治、香野百合子ら正月映画らしい豪華キャストが組まれた。

さらに映画の重要パートを担う舞台の設営・演出には演劇界の重鎮・蜷川幸雄があたり、映画でも舞台演出家として登場するのだが、美術や照明に至るまで細かな配慮を示し、リアルなスケール感を出している。監督には一昨年、「野菊の墓」で新鮮なデビューを飾った澤井信一郎。「遅咲きの大物新人監督」の第2弾として、その実力の開花が大きな注目を集めている。また映画主題歌「Woman～Wの悲劇より～」は薬師丸本人が歌い、こちらの大ヒットも大いに期待されている。

12/15(土) 全国洋画系一斉ロードショー!